

2022（令和4）年度
教職課程

自己点検評価報告書

2023（令和5）年3月
沖縄キリスト教短期大学 保育科

目次

I	教職課程の現状及び特色	1
II	基準領域ごとの自己点検評価	2
	基準領域 1 教職課程に関わる教職員の共通理解に基づく協働的な取り組み	2
	基準領域 2 学生の確保・育成・キャリア支援	9
	基準領域 3 適切な教職課程カリキュラム	12
III	今後の教職課程教育・運営の課題	23
	現状基礎データ票	22

I 教職課程の現状及び特色

1 現状

- (1) 大学名：沖縄キリスト教短期大学
- (2) 所在地：沖縄県中頭郡西原町字翁長 777 番地
- (3) 学生数及び教員数

(2022 年 (令和 4 年) 5 月 1 日現在)

学生数： 評価対象学部 165 名／大学全体 269 名

教員数： 教職課程科目 (教職・教科とも) 担当 9 名／大学全体 18 名

2 特色

本短大は 1957 年、沖縄キリスト教団によって創設された沖縄県における最初の私立高等教育機関であり、県内唯一のキリスト教主義高等教育機関である。1963 年に英語科及び児童福祉科が設置され、それぞれ中学校教諭免許状 (英語二級)、保育資格の取得が可能となった。1964 年には、琉球政府の要請で設置されていた附設保育養成科が廃止され、保育養成校として新たに指定を受けた。その後、1967 年には沖縄県の幼稚園教員養成課程が認可された。現在、本短大では保育士資格及び幼稚園教諭二種免許状取得が可能である。本学の教職課程認定は下記のとおりである。

■幼稚園教諭二種免許状

【免許状の種類】	【課程を置く学部・学科】
幼稚園教諭二種免許状	沖縄キリスト教短期大学 保育科

上記の教員免許状取得のための本学における教職課程指導の特色は下記に示すものである。

- (1) 『2022 年度 実習の手引き—保育所・施設・幼稚園—』に基づく指導 (毎年度発行)
- (2) 「履修カルテ」を用いた指導
- (3) 教育実習指導

上記 (1) ～ (3) の教職課程指導に基づき、教職課程履修学生に対して、教職を志すことへの心構えや幼稚園教諭として身に付けるべき資質・能力、知識及び技能、教職課程の履修や学習すべき内容について指導を行っている。また、学外での教育実習、実習担当者及びアドバイザーによる進路指導、キャリア支援課と学科の共催である進路セミナーやキャリア支援課主催の進路説明会などの機会を通して、学年ごと、また個別に指導を実施し、教員養成に努めている。

II 基準領域ごとの自己点検・評価

基準領域1 教職課程に関わる教職員の共通理解に基づく協働的な取り組み

(1) 基準項目1-1 教職課程教育に対する目的・目標を共有

基準領域1-1-①

教職課程教育の目的・目標を、「卒業認定・学位授与の方針」及び「教育課程編成・実施の方針」等を踏まえて設定し、育成を目指す教師像とともに学生に周知している。

[状況説明]

教職課程の設置及び編成を実施するため、保育科の「教育研究上の目的」と「学習成果」を定めている。これらに基づき、「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」及び「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」を定めて教員養成を実施している。上記については、沖縄キリスト教短期大学 HP 及び『OKINAWA CHRISTIAN JUNIOR COLLEGE Student Handbook 2022 沖縄キリスト教短期大学 学生便覧』（以下、『学生便覧』と記載）に掲載して周知している。また、2016年度における教職課程実地調査の際、教職課程設置の趣旨、教員養成に対する理念及び設置の趣旨、各段階における学習の到達目標を定めて HP に掲載している。しかし現時点で『学生便覧』での周知はできていない。

[長所・特色]

教職課程の編成及び実施について、保育科の「教育研究上の目的」及び「学習成果」に基づいて、「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」を策定し、教員養成を行っている。「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」及び「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」については、学科会議等で定期的に見直し、改善を図っている。

<根拠となる資料・データ等>

※資料『2016年度教職課程認定大学等実地視察記録』p.7～p.9

※沖縄キリスト教短期大学 HP

(https://www.ocjc.ac.jp/ocjc/kyosyoku/hoiku_kyosyoku/)（教職課程について）

※『OKINAWA CHRISTIAN JUNIOR COLLEGE Student Handbook 2022 沖縄キリスト教短期大学 学生便覧』p.4～p.6（保育科研究上の目的、学習成果、三つのポリシー）

基準領域 1 - 1 - ②

育成を目指す教師像の実現に向けて、関係教職員が教職課程の目的・目標を共有し、教職課程教育を計画的に実施している。

[状況説明]

学科ワークショップ（年 2 回）及び非常勤講師との FD 研修（年 2 回）等を通して、保育科の教育課程及び幼稚園教諭養成課程の目的・目標の共有に努めている。また、幼稚園教諭養成課程再課程認定の際に策定された教職課程コアカリキュラムについて内容の共有が図られている。加えて、シラバス作成におけるガイドラインの策定及び第三者によるシラバス点検により、教職課程教育を計画的に実施するための対策を講じている。

[長所・特色]

育成をめざす教師像の実現に向けて、学科会議、学科ワークショップ（年 2 回）、非常勤講師との FD 研修（年 2 回）で教職課程の目的・目標の共有を図っている。また、教職課程教育を計画的に実施するため、シラバス作成ガイドラインに基づき各教員が作成したシラバスを、シラバス第三者チェック委員会（学科長を含む学科教員 3 名）で点検、修正を行った上で公表している。

<根拠となる資料・データ等>

※沖縄キリスト教学院大学・沖縄キリスト教短期大学 2022 年度シラバス作成 ガイドライン

※保育科夏のワークショップ議事録／保育科春のワークショップ議事録

※前期保育科科目担当教員 FD 研修会議事録／後期保育科科目担当教員 FD 研修会議事録

基準領域 1 - 1 - ③

教職課程を通して育もうとする学修成果（ラーニング・アウトカム）が、「卒業認定・学位授与の方針」を踏まえて具体的に示されるなど、可視化を図っている。

[状況説明]

保育科の「教育研究上の目的」及び「学習成果」に基づき、「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」を策定している。また、「学習成果」の可視化を図るため、「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」を踏まえて、カリキュラム・マップ

及びカリキュラム・ツリーを整備している。さらに「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」を踏まえて、「学習成果」に基づく2年間の学習に関する到達目標を策定している。

「沖縄キリスト教短期大学履修規程」第12条に基づき、「履修カルテ」を活用した履修指導を行っている。また、修学ポートフォリオを導入している。

[長所・特色]

保育科の「教育研究上の目的」「学習成果」に基づき、「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」を策定、カリキュラム・マップ及びカリキュラム・ツリーを整備している。また、学生が2年間の学習を通して自己の到達目標を達成できるように、履修カルテを活用した履修指導を行っている。さらに、2021年度より、学生自身が2年間の学習を通して自己の到達目標を達成できるよう修学ポートフォリオを導入している。

<根拠となる資料・データ等>

※沖縄キリスト教短期大学 HP

https://www.ocjc.ac.jp/ocjc/kyosyoku/hoiku_kyosyoku/（教職課程について）

https://www.ocjc.ac.jp/wp-content/uploads/2020/09/2020_DPlink_hoiku.pdf（本学ディプロマ・ポリシーと学習成果のリンク）

https://www.ocjc.ac.jp/ocjc/policy_hoiku/（保育科三つのポリシー）

https://www.ocjc.ac.jp/wp-content/uploads/2022/05/2022_c-map_hoiku.pdf（保育科カリキュラム・マップ）

※『OKINAWA CHRISTIAN JUNIOR COLLEGE Student Handbook 2022 沖縄キリスト教短期大学 学生便覧』p.4～p.6（保育科研究上の目的、学習成果、三つのポリシー）、p.82～84（保育科カリキュラム・マップ）

（2） 基準項目1－2 教職課程に関する組織的工夫

基準領域1－2－①

教職課程認定基準を踏まえた教員を配置し、研究者教員と実務家教員および事務職員との協働体制を構築している。

[状況説明]

本短大では学校現場における実務経験のある教員（非常勤講師含む）を採用し、文部科学省の「教職課程認定基準」に定められた必要専任教員数を充足している。本短大HPに

「実務家教員一覧」、「教員養成に携わる専任教員の経歴、専門分野、研究実績等」を掲載している。また、研究者教員と実務家教員の共同研究が行われており、「沖縄キリスト教短期大学紀要」及び「保育科論集」に研究者教員と実務家教員による共著の研究論文を掲載している。なお、教職課程委員会には教務課教職担当者が構成員として参画し、教職課程の運営に関して教員と事務職員との協働体制を構築している。

[長所・特色]

本短大における教職課程の教員配置について、学校現場における実務経験のある教員(非常勤講師含む)を採用し、また、文部科学省の「教職課程認定基準」に定められた必要専任教員数を満たす教員配置となっている。教職課程における実務経験のある教員(非常勤講師を含む)の採用に関しては、下記のとおりである。科目によっては複数教員でクラスを担当しており、特に教育実習指導科目に関しては事務職員を含めての実習担当者打ち合わせを定期的に行っている。また、研究者教員と実務家教員及び事務職員が協働体制をとりながら講義を実施している。さらに、教職課程委員会には教務課教職担当者が構成員として参画し、教職課程の運営に関して教員と事務職員との協働体制を構築している。

実務家教員数・科目数	
人数	6名
科目数	6科目

研究者教員と実務家教員の共同研究は「沖縄キリスト教短期大学紀要」及び「保育科論集」で下記のように確認することができる。(2022年度：紀要1件、論集1件)

<根拠となる資料・データ等>

※沖縄キリスト教短期大学 HP

https://www.ocjc.ac.jp/wp-content/uploads/2022/06/jitumu2022_ocjc.pdf (実務家教員一覧)

※沖縄キリスト教短期大学教職課程委員会規程

※沖縄キリスト教短期大学教職課程委員会議事録

※教育実習担当者打ち合わせ記録

※沖縄キリスト教短期大学紀要 第52号

※沖縄キリスト教短期大学保育科論集 第4号

基準領域 1 - 2 - ②

教職課程の運営に関して全学組織（教職課程センター等）と学部（学科）の教職課程担当者として適切な役割分担を図っている。

[状況説明]

教職課程委員会には、教務課教職担当が構成員として参画し、教職課程の運営に際し教員と事務職員との協働体制を構築している。本短大「教職課程委員会」の組織図は下記のとおりである。

【沖縄キリスト教短期大学 教職課程委員会 組織図】

委員長：1名（教職科目（教科）担当者）

委員：3名（短期大学部長 1名、保育科長／教職科目（教職教養）担当 1名、教職科目（教職）担当者 1名）

事務局：教務課教職担当職員 1名

[長所・特色]

教職課程を適切に実施するため、本短大の「教職課程委員会」の教員配置状況は、本短期大学部長、保育科長、教職科目（教職）担当者、教職科目（教科）担当者、教務課教職担当職員 1名で構成されており、全学的に教職課程の共通理解・協力体制が構築されている。

<根拠となる資料・データ等>

※沖縄キリスト教短期大学教職課程委員会規程

※沖縄キリスト教短期大学教職課程委員会議事録

基準領域 1 - 2 - ③

教職課程を行う上での施設・設備が整備され、ICT教育環境の適切な利用に関しても可能となっている。

[状況説明]

図書館、体育館、音楽教室（北棟 3-7）、EML 教室（北棟 3-6）、ピアノレッスン室（個人練習室）、リズム室、絵画・工作室、自然科学実験室が整備されている。また、CALL 教室、コンピュータ教室などの ICT 教育環境も利用可能となっている。

[長所・特色]

図書館、体育館、音楽教室（北棟 3-7）、EML 教室（北棟 3-6）、ピアノレッスン室（個人練習室）、リズム室、絵画・工作室、自然科学実験室が整備されている。また、CALL 教室、コンピュータ教室などの ICT 教育環境も整備されている。特に絵本の蔵書数は下記のとおりとなっており、県内有数の規模である。また、電子ピアノが配置されている EML 教室に加え、ピアノレッスン室（個人練習室）なども十分に準備されており、ピアノ練習の環境は整えられている。

施設名	内容
図書館	①蔵書数 97,479 冊（2022 年 3 月 31 日現在）※雑誌、出版物除く ②絵本（絵本約 4,500 冊、紙芝居約 350 冊、大型絵本約 130 冊） ③幼児教育用の定期購読数（幼児教育関連 12 点） ※別に障害児教育関連 3 点、社会福祉関連 8 点 ④電子黒板 ⑤Windwos 12 台
音楽教室	①ピアノ室 20 部屋（練習個室 18 部屋、ピアノレッスン室 2 部屋） ②EML 教室（電子ピアノ 25 台） ③ピアノ台数 ・グランドピアノ 5 台（レッスン室 3 台、北 3-7 1 台、チャペル 1 台） ・アップライトピアノ 19 台（ピアノ練習室 18 台、リズム室 1 台）
PC 教室	CALL 教室①：PC（Windwos 42 台＋講師用台 1 台、プロジェクター、スクリーン、AV 機器、書画カメラ） CALL 教室②：PC（Windwos 48 台＋講師用台 1 台、プロジェクター、スクリーン、AV 機器、書画カメラ） MAC 教室：PC（Mac 42 台＋講師用台 1 台、プロジェクター、スクリーン、AV 機器、書画カメラ）

基準領域 1 - 2 - ④

教職課程の質的向上のために、授業評価アンケートの活用を始め、FD（授業・カリキュラム改善、教育・学生支援体制の整備等）や SD（教職員の能力開発）の取り組みを展開している。

[状況説明]

教職課程の質的向上のために、授業改善アンケート（本学における授業評価アンケート）結果を活用し、各授業科目において改善に取り組んでいる。学生に対しては、フィードバックコメントを活用して改善点を公表している。また、学科会議、保育科ワークショップ（年 2 回）、非常勤講師との FD 研修（年 2 回）において保育科三つのポリシーを確認し、学習成果を踏まえた授業実施方針や学生指導について情報を共有している。さらに、教科担当者 FD を行って教職課程の質向上に努めている。

[長所・特色]

各学期末に全科目の授業改善アンケートを実施し、教員はアンケートに対しフィードバックを行い、そのコメントを学内ポータルサイト及び校内掲示で開示し、教職課程の質向上に努めている。

<根拠となる資料・データ等>

※保育科夏のワークショップ議事録／保育科春のワークショップ議事録

※前期保育科科目担当教員 FD 研修会議事録／後期保育科科目担当教員 FD 研修会議事録

※授業改善アンケート（学内ポータルサイトにおいて学内関係者（教職員／学生）のみ閲覧可能）

基準領域 1 - 2 - ⑤

教員養成の状況についての情報公表を行っている。

[状況説明]

本学の教職課程の情報公開について、「教育職員免許法施行規則第 22 条の 6」に定められた情報公開に基づき、HP「教職課程について」の項目で、下記の情報を公開している。

- (1) 教職課程設置の理念・目的、教育目標
- (2) 教職指導に係る学内組織などの体制
- (3) 教員養成に携わる専任教員の経歴、専門分野、研究実績等
- (4) 教員養成に係るシラバス（教職科目）
- (5) 教育職員免許状取得状況
- (6) 採用試験合格実績（教員採用状況）
- (7) 教員養成の質の向上に係る取り組み
- (8) 講義要項（シラバス）

[長所・特色]

本短大の教職課程における情報公開の特色は、「教育職員免許法施行規則第 22 条の 6」に定められた情報公開に基づき、HP「教職課程について」の項目を設定し、上記（1）～（6）の情報を公開している。

<根拠となる資料・データ等>

※沖縄キリスト教短期大学 HP

https://www.ocjc.ac.jp/ocjc/kyosyoku/hoiku_kyosyoku/（教職課程について）

基準領域 1 - 2 - ⑥

全学組織（教職課程センター等）と学部（学科）教職課程とが連携し、教職課程の在り方により良い改善を図ることを目的とした自己点検評価を行い、教職課程の在り方を見直すことが組織的に機能しているか、この自己点検評価を通じて機能しつつある。

[状況説明]

本短大は単科大学における教職課程のため、教職課程委員会が学科と連携し、自己点検評価を通じた現状の把握、評価と改善に向け取り組みを実施し、教職課程のより良い在り方について見直しの機会を設けている。

[長所・特色]

教職課程委員会と学科が連携し、教職課程の在り方について、より良い改善を図ることを目的とした自己点検評価のサイクルを回し始めた。この自己点検評価をとおして、教職課程の在り方の見直しが機能しつつある。

<根拠となる資料・データ等>

※沖縄キリスト教短期大学教職課程委員会議事録

基準領域 2 学生の確保・育成・キャリア支援

(1) 基準項目 2 - 1 教職を担うべき適切な人材（学生）の確保

基準領域 2 - 1 - ①

当該教職課程で学ぶにふさわしい学生像を「入学者受入れの方針」等を踏まえて、学生の募集や選考ないしガイダンス等を実施している。

[状況説明]

入学者に対する本短大の教職課程に関する情報は、大学案内や HP で公開している。保育科「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」についても同様に掲載、周知しており、本短大の教職課程で学ぶにふさわしい学生像や「入学者受入れの方針（アドミッ

ション・ポリシー)」等を踏まえた学生募集やガイダンス及び選考を実施している。

[長所・特色]

保育科「入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)」や教職課程に関する情報は、大学案内やHPで公開している。また、入試課職員や保育科教員が高校訪問や入試説明会等に参加して、本短大教職課程で学ぶにふさわしい学生像や保育科「入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)」を踏まえた学生募集やガイダンス等を行っている。

<根拠となる資料・データ等>

※沖縄キリスト教短期大学大学案内

※沖縄キリスト教短期大学HP

https://www.ocjc.ac.jp/ocjc/policy_hoiku/ (保育科三つのポリシー)

基準領域2-1-②

「教育課程編成・実施の方針」等を踏まえて、教職を担うにふさわしい学生が教職課程の履修を開始・継続するための基準を設定している。

[状況説明]

本短大保育科は、教員養成を主たる目的とする幼稚園教諭教職課程のため、教職課程の履修を開始する基準について明確に設定していない。ただし、教職課程を継続するための基準を設定して教職指導を行い、教職を担うにふさわしい学生が教職課程を履修していく仕組みとなっている。

[長所・特色]

本短大では、教職課程の履修を開始する基準は設定していないが、教職課程を継続するための基準を設定して、教職指導を行っている。

入学時の「新入生オリエンテーション」等において『学生便覧』を用いて教職課程の説明を行う。さらに、「教育実習オリエンテーション」において『実習の手引き—保育所・施設・幼稚園—』を用いて実習を受ける条件を周知し、教育実習を受講するすべての学生がこの基準を満たすことを求めている。

なお、「教育実習」及び「教育実習指導」登録前に実習仮判定を行い、さらに本実習前に本判定を行う仕組みを用いることで、教職を担うにふさわしい学生が教職課程を履修する仕組みとなっている。

<根拠となる資料・データ等>

※『OKINAWA CHRISTIAN JUNIOR COLLEGE Student Handbook 2022 沖縄キリスト教短期大学 学生便覧』p.86～p.87（保育科の実習に関する共通事項）

※『2022年度 実習の手引き—保育所・施設・幼稚園—』

※保育科会議事録（2021年度第36回／2022年度第10回）

基準領域 2-1-③

「卒業認定・学位授与の方針」も踏まえて、当該教職課程に即した適切な規模の履修学生を受け入れている。

[状況説明]

本短大では、授業形態により適切な規模のクラス人数を設定している。

[長所・特色]

本短大の教職課程では、講義または演習等の授業形態により、適切な規模のクラス人数を設定し、履修学生を受け入れている。

基準領域 2-1-④

「履修カルテ」を活用する等、学生の適性や資質に応じた教職指導が行われている。

[状況説明]

「保育・教職実践演習(幼稚園)」において「履修カルテ」を用いて、教員免許状取得における学習成果の達成と教員として身につけるべき資質・能力について、自己理解・自己確認ができる指導を行っている。

[長所・特色]

「保育・教職実践演習(幼稚園)」では「履修カルテ」を用いた個別面談を行い、履修カルテに記載される学生の課題を把握し、将来の教職としての適性や資質・能力に応じた教職指導を行っている。

(2) 基準項目 2-2 教職へのキャリア支援

基準領域 2-2-① 学生の教職に就こうとする意欲や適性を把握している。

基準領域 2-2-② 学生のニーズや適性の把握に基づいた適切なキャリア支援を組織的に行っている。

基準領域 2-2-③ 教職に就くための各種情報を適切に提供している。

基準領域 2-2-④ 教員免許取得件数、教員就職率を高める工夫をしている。

基準領域 2-2-⑤ キャリア支援を充実させる観点から、教職に就いている卒業生や地域の多様な人材等との連携を図っている。

[状況説明]

本短大では進路調査票で個人の進路希望を確認し、学生のニーズや適性の把握に基づいた適切なキャリア支援を行っている。また、キャリア支援課において、教職に関する各種情報を提供している。さらに、教職に就いている卒業生や地域の多様な人材等と連携を図り、キャリア支援を充実させるように努めている。

[長所・特色]

本短大では進路調査票で個人の進路希望を確認し、学生から相談があれば資料の提供、情報検索の指導等を行っている。「幼稚園」の求人票と「保育所」の求人票はファイルを分けて学生が検索しやすいよう配慮している。また、年数回の学内説明会も開催している。

実習指導の授業では、幼稚園教諭等を講師として招聘し、特別講義を実施している。さらに、1年次前期に進路セミナーを開催し、幼稚園等で活躍している卒業生によるパネルディスカッションや講話を実施し、進路やキャリアについて深く考える機会を設けている。

なお、幼児教育分野の公務員採用試験受験希望者に対しては、公務員採用試験対策講座を開催している。

基準領域 3 適切な教職課程カリキュラム

(1) 基準項目 3-1 教職課程カリキュラムの編成・実施

基準領域 3-1-①

教職科目に限らず、キャップ制を踏まえた上で卒業までに修得すべき単位を有効活用して、建学の精神を具現する特色ある教職課程教育を行っている。

[状況説明]

「建学の精神」を理解する科目として、教養教育科目では「キリスト教学Ⅰ」及び「キリスト教学Ⅱ」（各 2 単位）、学科専門科目として「キリスト教保育」（2 単位）を設置している。また、「建学の精神」の理解を深め、地域社会へ貢献するために、学科独自科目として「幼児の生活」（1 単位）、「飼育栽培」（1 単位）、「保育ボランティア体験」（1 単位）を設置している。これらの科目を通して、教職課程の理念と目標・目的の理解を促している。

教職課程カリキュラムについては、「教育職員免許法施行規則第 66 条の 6」に基づき、教養教育科目に「日本国憲法」（2 単位）、「体育理論」（1 単位）、「体育実技」（1 単位）、「チャイルドケア・イングリッシュ」（2 単位）、「コンピュータリテラシー」（2 単位）の計 8 単位を設置している。保育科専門科目としては、「領域に関する専門的事項」（9 科目・10 単位）、「領域及び保育内容の指導法に関する科目」（7 科目・8 単位）、「教育の基礎的理解に関する科目」（6 科目・12 単位）、「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」（2 科目・4 単位）、「教育実践に関する科目」（3 科目・7 単位）の計 27 科目・41 単位を設置している。

[長所・特色]

本学独自科目として、教養教育科目に「キリスト教学Ⅰ」「キリスト教学Ⅱ」を設置している。また、学科独自科目として、「キリスト教保育」「幼児の生活」「飼育栽培」「保育ボランティア体験」を設置している。

<根拠となる資料・データ等>

- ※『OKINAWA CHRISTIAN JUNIOR COLLEGE Student Handbook 2022 沖縄キリスト教短期大学 学生便覧』p.71（教養科目一覧）p.80～p.81（保育科専門科目一覧）
- ※沖縄キリスト教短期大学教職課程履修規程

基準領域 3-1-②

学科等の目的を踏まえ、教職課程科目相互とそれ以外の学科科目等との系統性の確保を図りながら、コアカリキュラムに対応する教職課程カリキュラムを編成している。

[状況説明]

保育科の「教育研究上の目的」、「学習成果」に基づき、「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」及び「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」を策定している。これらに基づいてカリキュラム・マップ及びカリキュラム・ツリーを作成し、保育科専門科目及び教職課程科目の系統性を確保している。また、教職コアカリキュ

ラムに対応した教職課程カリキュラムを編成している。

[長所・特色]

保育科の「教育研究上の目的」、「学習成果」に基づき、「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」及び「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」を策定している。そして、これらに基づいてカリキュラム・マップ及びカリキュラム・ツリーを作成し、保育科専門科目及び教職課程科目の系統性を確保している。また、教職コアカリキュラムに対応した教職課程カリキュラムを編成している。時間割の配置運用にあたっては、教職科目と教職課程以外の科目が適切に配置され、学生が2年間で教職課程を履修することができるようになっている。

<根拠となる資料・データ等>

※『OKINAWA CHRISTIAN JUNIOR COLLEGE Student Handbook 2022 沖縄キリスト教短期大学 学生便覧』p.4～p.6（保育科研究上の目的、学習成果、三つのポリシー）、p.82～84（保育科カリキュラム・マップ）、p.85（保育科履修モデル）

※沖縄キリスト教短期大学 HP

https://www.ocjc.ac.jp/ocjc/kyosyoku/hoiku_kyosyoku/（教職課程について）

https://www.ocjc.ac.jp/wp-content/uploads/2020/09/2020_DPlink_hoiku.pdf（本学ディプロマ・ポリシーと学習成果のリンク）

https://www.ocjc.ac.jp/ocjc/policy_hoiku/（保育科三つのポリシー）

https://www.ocjc.ac.jp/wp-content/uploads/2022/05/2022_c-map_hoiku.pdf（保育科カリキュラム・マップ）

基準領域3-1-③

教職課程カリキュラムの編成・実施にあたり、教員育成指標を踏まえる等、今日の学校教育に対応する内容上の工夫がなされている。

[状況説明]

保育科の教職課程カリキュラムの編成・実施にあたって、沖縄県公立学校教員等育成協議会における教員育成の指標等を踏まえて、「教職を支える力」、「幼児指導力」、「保育実践力」、「学級運営力」の基礎的力量を育成するよう、授業実施の方法、内容等の充実を図っている。

[長所・特色]

1 年次に必修科目として「保育ボランティア体験」を課し、本実習前から幼児教育現場において、子ども理解及び幼稚園教諭の役割等について学習の機会を設けている。

基準領域 3-1-④

今日の学校における ICT 機器を活用し、情報活用能力を育てる教育への対応が充分可能となるように、情報機器に関する科目や教科指導法科目等を中心に適切な指導が行われている。

[状況説明]

教職課程における ICT の活用については、文部科学省の「教職課程認定基準」に基づくコアカリキュラムに則し、指導法科目や教職課程科目において ICT の活用を取り入れたシラバスが作成され、適切な指導が行われている。

[長所・特色]

1 年次で履修する「コンピュータリテラシー」、2 年次で履修する「教育の方法・技術」、また 1 年次から 2 年次にかけて履修する各指導法関連科目で ICT の活用を取り入れており、段階的、体系的なカリキュラムに基づいて適切な指導を行っている。

<根拠となる資料・データ等>

※沖縄キリスト教学院大学・沖縄キリスト教短期大学 2022 年度シラバス作成 ガイドライン

基準領域 3-1-⑤

アクティブ・ラーニング（「主体的・対話的で深い学び」）やグループワークを促す工夫により、課題発見や課題解決等の力量を育成している。

[状況説明]

本学では、3 つの PC 教室及び図書館に合わせて約 150 台のデスクトップ型パソコンを備えている。学習支援のためのシステムとしては、Microsoft Teams、Active Academy を導入している。この Microsoft Teams を利用して、講義資料提供やレポート提出などインターネット上で講義や指導ができるようにしている。また、同システムは遠隔授業でも活用されている。さらに、セキュリティを強化した上で Wi-Fi 環境を整え、Active Academy を利用して自宅からシラバスの閲覧や成績照会、履修登録等ができる。

教職課程に設置する授業において、グループワークやディスカッション、発表等、アクティブ・ラーニングを実施している。また、課題発見、課題解決力の育成を、各指導法関連科目や「保育・教職実践演習（幼稚園）」等の科目をとおして行っている。

[長所・特色]

学習支援のために Microsoft Teams を導入することにより、インターネット上で講義や指導を行っている。これらのシステムは遠隔授業でも活用されている。また、セキュリティを強化した上で Wi-Fi 環境を整え、Active Academy を利用して学生が自宅からシラバスの閲覧や成績照会、履修登録等ができる。

教職課程の授業において、アクティブ・ラーニングを実施しており、課題発見、課題解決力の育成を各指導法関連科目や「保育・教職実践演習（幼稚園）」等の科目をとおして行っている。

<根拠となる資料・データ等>

※沖縄キリスト教短期大学シラバス作成ガイドライン

基準領域 3 - 1 - ⑥

教職課程シラバスにおいて、各科目の学習内容や評価方法等を学生に明確に示している。

[状況説明]

毎年度作成するシラバスにおいて、各科目の学習内容及び評価方法等を学生へ明確に示している。シラバスに明記する項目として、①授業のテーマ及び到達目標、②授業の概要、③授業計画（事前学習・事後学習を含む）、④授業における具体的な特色や方法、⑤テキスト、⑥参考書、⑦評価方法、⑧評価基準、⑨卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連、⑩履修上の注意、⑪オフィスアワー、⑫課題に対するフィードバック方法、を基本としており、教職課程のシラバスにおいてもこの基本項目をすべて明示している。

シラバス作成についてはガイドラインを作成し、第三者チェックを実施している。

[長所・特色]

①では、学生を主語にして、この授業を履修し学習することで「何ができるようになるのか、どのような能力が身に付くのか」など知識・理解の観点、技能の観点、態度の観点を具体的に示している。④では、各授業の特色としてアクティブ・ラーニングや ICT の活用等について記載している。⑦では、評価手段を示し、複数の評価方法を使用する場合にはそれらの配分割合について明記している。⑨では、保育科「卒業認定・学位授与の方針

(ディプロマ・ポリシー)」と各授業の関連性が明示されている。

<根拠となる資料・データ等>

※沖縄キリスト教学院大学・沖縄キリスト教短期大学 2022 年度シラバス作成 ガイドライン

基準領域 3 - 1 - ⑦

教育実習を行う上で必要な履修要件を設定し、教育実習を実りあるものとするよう指導を行っている。

[状況説明]

教育実習を行う上で必要な履修要件を、教育実習受講資格として『学生便覧』及び『実習の手引き—保育所・施設・幼稚園—』に明記し指導している。

[長所・特色]

実習指導オリエンテーションや実習指導授業内で、『学生便覧』及び毎年度発行している『実習の手引き—保育所・施設・幼稚園—』に明記されている履修要件を学生に説明し、実習に対する学生の意識を高めるよう指導を行っている。また、実習前には学科会議において仮判定及び本判定を実施している。

<根拠となる資料・データ等>

※『OKINAWA CHRISTIAN JUNIOR COLLEGE Student Handbook 2022 沖縄キリスト教短期大学 学生便覧』 p.86～p.87 (保育科の実習に関する共通事項)

※『2022 年度 実習の手引き—保育所・施設・幼稚園—』

※保育科会議議事録 (2021 年度第 36 回／2022 年度第 10 回)

基準領域 3 - 1 - ⑧

「履修カルテ」等を用いて、学生の学修状況に応じたきめ細かな教職指導を行い、「教職実践演習」の指導にこの蓄積を活かしている。

[状況説明]

「保育・教職実践演習 (幼稚園)」において、「履修カルテ」を用い、教職課程の履修に

ついて自己理解を行い、教員として必要な資質・能力等の課題を指導している。

[長所・特色]

「保育・教職実践演習（幼稚園）」において、「履修カルテ」を用いて教職課程の学習成果の達成（自己評価）と教員として身につけるべき資質・能力について自己理解・自己確認を行い、今後の目標を設定している。また、最終講義において「履修カルテ」を参考に教職課程の学習を振り返り、資質・能力の達成及び課題等について、総合的な指導をしている。

(2) 基準項目 3-2 実践的指導力養成と地域との連携

基準領域 3-2-①

取得する教員免許状の特性に応じた実践的指導力を育成する機会を設定している。

[状況説明]

1年次で履修する「保育ボランティア体験」において、子どもたちと触れ合いながら、子ども理解を深める。「教育実習指導」では、環境を通して行う教育や、遊びをとおしての指導について理解を深める。それを基に教師の援助や環境構成の具体的な実習記録や指導案作成ができるよう指導している。なお、その他の教職課程に設置する授業では、指導案作成や模擬保育を取り入れている。

[長所・特色]

1年次に「保育ボランティア体験」を行うことで、子どもの生活環境を把握し、子ども理解、子どもへの関わり方などの自己課題を発見し、その後の学習へ繋げる。また、「教育実習指導」では、実習記録や指導案作成を行うことで、子ども主体の保育を構想する方法を身につけられるようにしている。

<根拠となる資料・データ等>

※『2022年度 実習の手引き—保育所・施設・幼稚園—』

基準領域 3-2-②

様々な体験活動（介護等体験、ボランティア、インターンシップ等）とその振り返りの機会を設けている。

[状況説明]

「保育ボランティア体験」においては、中間報告会及び全体報告会、報告書の提出を課すことで振り返りの機会を設けている。「教育実習」では、中間協議及び反省会の実施、実習レポートを課し、振り返りの機会を設けている。

[長所・特色]

「保育ボランティア体験」「教育実習」において、中間と実施後に振り返りを行う機会を設け、さらにレポートを課すことで自己の課題について省察できるようにしている。

<根拠となる資料・データ等>

※『2022年度 実習の手引き—保育所・施設・幼稚園—』

基準領域 3-2-③

地域の子供の実態や学校における教育実践の最新の事情について学生が理解する機会を設けている。

[状況説明]

「教育実習指導」において、幼稚園教諭等による特別講義を実施し、子どもの実態や保育・教育実践について理解する機会を設けている。

[長所・特色]

幼稚園教諭等による特別講義をとおして、子どもを理解し、保育・教育実践について理解する機会を設けている。

基準領域 3-2-④

大学ないし教職課程センター等と教育委員会等との組織的な連携協力体制の構築を図っている。

[状況説明]

本学では保育科のみ教職課程を設置しているため、全学組織の役割を学科が担っている。沖縄県公立学校教員等育成協議会に参加し、教職課程運営、教育実習の実施等に関して、連携及び協力体制を構築している。また、教育実習の実施については、市町村教育委員会等と連携及び協力体制を構築している。

[長所・特色]

沖縄県公立学校教員等育成協議会と連携及び協力体制を構築している。また、教育実習の実施について、市町村教育委員会等と連携及び協力体制を構築している。

基準領域 3-2-⑤

教職課程センター等と教育実習協力校とが教育実習の充実を図るために連携を図っている。

[状況説明]

教育実習先と 2020 年度までは隔年、2021 年度からは毎年度連絡会を開催し連携を図っている。教育実習期間には、保育科教員全員で手分けして各実習園を訪問し、学生の実習状況、子ども理解や実習記録・指導案作成等について把握するとともに今後の指導に活かしている。

[長所・特色]

実習先と連絡会を開催し連携を図っている。また、保育科教員全員で分担し、実習園を訪問することで学生の状況把握を行い、実習後の指導に活かしている。

<根拠となる資料・データ等>

※教育実習に関する連絡会議事録

Ⅲ. 今後の教職課程教育・運営の課題

本短大における教職課程の指導において評価できる点を下記に示す。

- 1) 毎年度『実習の手引き—保育所・施設・幼稚園—』を発行し、この冊子を用いた「実習指導オリエンテーション」や実習指導授業において、教職の目的や意義、履修要件の説明を行い、教育実習の心得や教員を志す心構え等を指導し、実習に対する学生の意識を高めるよう指導を行っている。
- 2) 教育実習前に、仮判定及び本判定を実施し、教職に対する自覚と責任、意欲を引き出す指導体制を整え、教育の質保証を行っている。
- 3) 「履修カルテ」を用いて教職課程の学習成果の達成（自己評価）と教員として身につけるべき資質・能力の達成に関する確認を行う。また、課題を課して、総合的な指導を行っている。

- 4) 「教職課程委員会」の教職員配置状況は、本短期大学部長、保育科長、教職科目（教職）担当者、教職科目（教科）担当者、教務課教職担当職員で構成されており、全学的に教職課程の共通理解・協力体制が構築されている。
- 5) 実習担当者及びアドバイザーによる進路指導、キャリア支援課と学科の共催による進路セミナー、キャリア支援課主催の進路説明会等の開催など、進路選択・就職活動に関する機会の提供を学年ごとに実施している。また、個別指導を実施し、教員養成に努めている。

他方、本学における教職課程の今後の課題は、下記のとおりである。

- 1) 今後、教職課程の目的・目標に基づく「育成をめざす教師像」を具体化する。また、教職課程設置の趣旨、教員養成に対する理念及び設置の趣旨、各段階における学習の到達目標を『学生便覧』や『大学案内』で周知する。
- 2) 「教育研究上の目的」及び「学習成果」に基づき、「子どもの理解と知識」、「子ども支援の技術」、「豊かな感性」、「子育て支援の力」、「社会人としての自覚と行動」という保育科 5 つの学びのポイントを踏まえ、より具体的な教員養成の内容及び方法について検討する。また、「沖縄県公立学校教員等育成指標」を教職課程と関連づけて、教育の今日的課題に対応できる授業内容及び方法等の工夫を図るよう検討する。
- 3) 準備室、ゼミ室、模擬保育室等、教職課程科目に係る作業を行うことができる教室や施設の整備を検討する。

< 基準領域の記載において根拠となる資料等 >

- ・ 資料 1 : 『2022 年度 実習の手引き—保育所・施設・幼稚園—』
p. 2～21 (I . 共通事項)
p. 31～33 (IV . 教育実習)
- ・ 資料 2 : 『OKINAWA CHRISTIAN JUNIOR COLLEGE Student Handbook 2022 沖縄キリスト教短期大学 学生便覧』
p. 4～p. 6 (保育科研究上の目的, 学習成果, 三つのポリシー)
p. 82～84 (保育科カリキュラム・マップ)
p. 85 (保育科履修モデル)
p. 86～p. 87 (保育科の実習に関する共通事項)
p. 71 (教養科目一覧) p. 80～p. 81 (保育科専門科目一覧)
- ・ 資料 3 : HP (URL)
https://www.ocjc.ac.jp/ocjc/kyosyoku/hoiku_kyosyoku/ (教職課程について)
https://www.ocjc.ac.jp/wp-content/uploads/2020/09/2020_DPlink_hoiku.pdf (本学ディプロマ・ポリシーと学習成果のリンク)

https://www.ocjc.ac.jp/ocjc/policy_hoiku/（保育科三つのポリシー）

https://www.ocjc.ac.jp/wp-content/uploads/2022/05/2022_c-map_hoiku.pdf（保育科カリキュラム・マップ）

https://www.ocjc.ac.jp/wp-content/uploads/2022/06/jitumu2022_ocjc.pdf（実務家教員一覧）

- ・資料 4：沖縄キリスト教短期大学大学案内（2022 年度）
- ・資料 5：沖縄キリスト教学院大学・沖縄キリスト教短期大学 2022 年度シラバス作成 ガイドライン
- ・資料 6：教育職員免許法施行規則第 22 条の 6
- ・資料 7：沖縄県公立学校教員等育成協議会における教員育成の指標
- ・資料 8：教職課程認定基準（文部科学省）
- ・資料 9：沖縄キリスト教短期大学教職課程履修規程
- ・資料 10：沖縄キリスト教短期大学教職課程委員会規程
- ・資料 11：沖縄キリスト教短期大学教職課程委員会議事録
- ・資料 12：保育科会議事録（2021 年度第 36 回／2022 年度第 10 回）
- ・資料 13：教育実習に関する連絡会議事録（2022 年度）
- ・資料 14：保育科夏のワークショップ議事録／保育科春のワークショップ議事録（2022 年度）
- ・資料 15：前期保育科科目担当教員 FD 研修会議事録／後期保育科科目担当教員 FD 研修会議事録（2022 年度）
- ・資料 16：紀要第 52 号
- ・資料 17：保育科論集第 4 号

現状基礎データ票

令和4年5月1日現在

設置者 学校法人 沖縄キリスト教学院					
大学・学部名称 沖縄キリスト教短期大学					
学科やコースの名称（必要な場合） 保育科					
1 卒業生数、教員免許取得者数、教員採用者数等					
① 昨年度卒業生数					75 人
② ①のうち、就職者数 (企業、公務員等を含む)					67 人
③ ①のうち、教員免許取得者の実数 (複数免許取得者も 1 と数える)					74 人
④ ②のうち、教職に就いた者の数 (正規採用＋臨時的任用の合計数)					11 人
④のうち、正規採用者数					5 人
④のうち、臨時的任用者数					6 人
2 教員組織					
	教授	准教授	講師	助教	その他（非常勤講師）
教員数	10 人	6 人	1 人	1 人	33 人
相談員・支援員など専門職員数					